

ましこアカマツ復活プロジェクトの取り組み！ （令和元(2019)年12月13日）

かつて益子の山にはアカマツが豊富に生育し、豊かな環境と景観を形作るとともに、益子焼の窯焚きに利用されていました。

しかし、現在ではマツ枯れなどの影響により、その多くが失われています。

そこで、益子町では町木でもあり、歴史ある益子の風土の象徴となるアカマツを復活させる「ましこアカマツ復活プロジェクト」を実施しています。

ましこアカマツ復活プロジェクト

○益子町内の小学生等の手で、『焼き物の里益子』のアカマツ林を復活させよう！

○アカマツと町の歴史について学ぶとともに、子供たちの郷土愛と自然の大切さ、森林の働きへの理解を深めよう！

○平成29年8月に実行委員会を設立、取り組みスタート

お手入れ対象のアカマツ林



今年で3回目となるアカマツ林のお手入れプロジェクト

平成29年、平成30年と、実行委員会の中心メンバーである「益子里山の会」の方々による下刈りと、**益子町内の小学生**の枝打ち作業のおかげで、少しずつきれいな林に変わりつつあります。

平成28年は、このような状況でした。



今年からは、いよいよ、間伐に取り組んでいきます！

今回は、その様子をお知らせしていきます。

令和元(2019)年12月13日(金)くもり

プロジェクト3年目、「森林整備体験学習」が、益子の森のアカマツ林において実施され、益子町立益子西小学校5年生が間伐に挑戦しました。



## 安全第一に！

子供たちが到着する前に、指導にあたる益子里山の会の方々が、入念に打ち合わせです。

## 児童たちが到着！

益子西小学校5年生  
児童約50名、引率の先生3名  
それぞれがヘルメットとゴーグル  
を手に、緊張のおももちです。



## 町木アカマツ について

今年は、アカマツが元気に大きく育つよう、育ちが悪い木や曲がった木を切る「間伐」の作業を実施します！

## エー！ ここを登っていくの？

あえて、園内の遊歩道ではなく、林の中を登っていきます。これも体験のひとつ。



益子西小学校の精鋭部隊が  
山歩きの大変さを実感し、  
現場到着！



早速、間伐作業に取り掛かります。  
みんな！十分に気を付けてね！

こんなノコギリ初めて！



上手！その調子！



みんなで協力！



倒す方向を考えながら！



もうすぐ倒れるぞ！  
安全な場所に。



倒した木もきれいに処理！



## みんな！キレイなアカマツ林になったかな？



真新しい切り株に、子供たちの成果が表れています！



帰りの子供たちの後ろ姿。  
初めての経験で興奮気味でしたが、  
感謝の気持ちを忘れない礼儀正しい背中に、  
頼もしさを感じます。

年明けには、アカマツ苗木植栽プロジェクトが待っています。  
次の主役は、益子西小学校の6年生。実行委員会の皆様、よろしくお願いします。

この体験教室の実施に当たっては、「とちぎの元気な森づくり県民税」が使われています。